



# がんばろう日本。

サンコー物産(株)は  
地球温暖化防止に取り組んでいます



未来が変わる。日本が変わる。

## サンコー 未来 夢通信

### 感謝

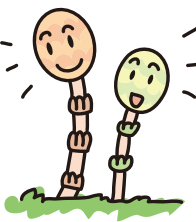
全員で結果を創る  
大樹の経営実践部隊

2011.4. 春号 vol.7

<http://www.sankobussan.co.jp>



サンコー物産株式会社  
代表取締役 細川康二



このたび東日本大震災において亡くなられた方々の御冥福をお祈りすると共に、被災された皆様に謹んで御見舞い申し上げます。  
この未曾有の天災を克服していくには、個人から組織まで一致団結して心をひとつにしなければいけません。そして、個人から組織まで小さくても出来る事を積み重ねる事を実践していかねばなりません。弊社が東日本の方々の復興を手助けするためにも、阪神淡路大震災の教訓を糧に商品の安定供給を是が非でも成して行く強い意識の元に行動する覚悟です。  
弊社内の経営から独立した組織である「サンコー」からも義捐金の拠出が震災後すぐに決まりました。これは弊社社員が毎月「万が一」に備えてこつこつ積み立てた、いわゆる弊社独自の保険会社のようなものです。社員一人ひとりが仲間の方が一のためにすぐ援助できるようにと備えた積立金の一部を、被災された方々の為に役立てようと言う強い想いが行動に現れたと感謝しております。経営理念の中にある「慈悲の心と感謝の気持ちで社会に貢献する」を全員で実践してくれた弊社社員に本当に感謝すると共に皆様に胸を張って社員を紹介できると確信しました。復興までには多くの難題が現れてくるでしょう。個人や組織で出来ることは限られていますが、前述した通り弊社は一致団結して商品の安定供給を影で支え、復興で活躍される方々の支援の為に全社一丸となって仕事を通じて貢献してまいります。長期戦になる事は必死ですが、「あきらめず」「労を惜しまず」を新たなスローガンとして活動をして参ります。  
一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

### 商品紹介

構造用合板 不足に対応!!

## コボット PAT

壁用/水平用ステンプレースシステム

コボットを使用すれば、耐力壁・床耐力を確保できます

壁用ステンプレースシステム

新築の間仕切壁・耐震リフォームの耐力壁に・・・

通常	コボットを利用した場合
構造用合板 12mm	耐力壁 半間 2.7倍(大臣認定取得) 一間 3.3倍(大臣認定取得) 壁強さ倍率 半間 5.46kN/m 壁強さ倍率 一間 6.52kN/m 下地材は石膏ボードで!!

通常	コボットを利用した場合
構造用合板 24.28mm	床耐力 床倍率 1.82x2.73 3.66倍 床倍率 2.73x2.73 3.61倍 床倍率 3.64x2.73 2.96倍 ※根太+構造用合板 12mmで!



詳細につきましては、弊社までお問合せください。

和歌山での3S活動は、自社工場が和歌山にあり工場中心に進めています。  
日々の製造工程を段階的に良く進めて行く上で3S活動はなくてはならない活動になってきています。そんな中、先日和歌山にて月間方針会議が行われました。  
会議の終了後、会議参加者全員と和歌山の社員にて工場の3S活動を行いました。  
和歌山でも日々3S活動を行っています。和歌山の社員が当り前だと思っている事、が、今回他営業所の人と3S活動を行って、幾つか何故かこうなっているのかと指摘を受けました。自分達では当り前の事も他の人からみれば違うと感じる。今回の3S活動で気付けた事はすごく良かったと思えました。  
また次回の時までにはもっと3S活動を進めて行きたいと思えます。

和歌山工場  
和歌山営業所



3S活動

辻 朋行

【社会貢献活動】～淀川河川敷お掃除大会に参加して～ 細川 三郎

大阪が誇る美しい川「淀川」、この美しい命の水

今この淀川に手をかけ、お掃除をしてやらねば10年後には大阪湾で魚が獲れなくなると言われています。この事情を知って、日本を美しくする会そして一般市民、大学生、高校生等と共に参加者全員が「淀川をきれいに」を合言葉に健康的な汗を流した一日でした。我社からは、社会貢献の一助と考え会長と経理部長の2名が参加致しました。大会の概要と成果は下記の通りです。

日時 平成23年2月13日(日) 9:00~12:00  
場所 西中島南方地区及び国道2号線淀川大橋南詰  
参加人数 1,300名  
集積ゴミ 家庭用ゴミ袋で1,800個分 ありがとうございました。  
淀川河川敷のお掃除は、毎月第1日曜日に行っています。  
楽しくお掃除をしています、ご一緒にどうですか?



サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL : 06-6533-1271 FAX : 06-6543-0914

## 理念

未来を見つめて、慈悲の心と感謝の気持ちで働ける企業を目指します。

未来を見つめて、常に共存共栄の精神で社会に貢献する企業を目指します。

## ベトナム出張記

細川 真一



平成23年3月2日(水)～3月8日(火)の7日間のスケジュールでベトナム出張に行つてまいりました。目的は、現状の輸入リスク(対中貿易100%)の分散とベトナム市場の調査及び開拓です。今回の出張では、マンションの建築現場や橋梁の現場、生コンプラント等の見学を行った他、現地の水道公社やゼネコン等との意見交換も行いました。ベトナム(ベトナム社会主義共和国)は市場経済の導入により民間活力の積極的活用を図っており、首都は北部のハノイ市です。国民性は向上心が強く、真面目で穏やかです。また、親日で知られていますが、よくよく聞いてみると歴史的背景から、どうもそうではない部分もあるようです。安価で質の高い労働力は、全人口八千六百万人の6割以上が30歳以下で教育水準が非常に高いことが特徴です。(識字率90%以上)東南アジアでインドネシアに次ぐ第2位の人口に加え、2007年1月にWTOに加盟後、段階的に外国企業に対し市場開放が進められています。年率5%～7%以上の経済成長を続けており、特にベトナム最大の都市であるホーチミン市(旧サイゴン)は人口八百五十万人と急速に発展しつつあります。ベトナムのここ直近の件費上昇率は中国を凌ぐアジアで第1位となっています。電力供給については常時不足状態とのことで、停電が頻発しており計画的な生産活動がとりにくいように思いました。最後に、中国同様、人件費の上昇と同時に物価水準も上がっており、今後の動向が注目されます。

この度、大阪府立淀川工科高等学校の学生さんに来ていただきインターンシップを実施しました。工業科の1年生男子でうらやましいほどの若さあふれる3名でした。インターンシップ制度は欧米では歴史も古く、企業も学生(学校)も認識度は非常に高く、広く利用されているようです。我が国でも、近年実施する企業が多くなりましたが、当社のような中小企業ではまだまだ認識度が低いのが現実です。当社がインターンシップを始めたのは3年前からで、歴史も浅く、未だ試行錯誤の段階ですが、学生さんに「良かった」と言ってもらえたのが一番の収穫でした。インターンシップのメリットは、学生さんに就業体験を通じて就業意識や学習意欲の向上につながり、企業は学生さんや学校との接点が増え、将来の人材確保に役立ちます。「体験」を重視したプログラムは、

- ①工場でのセパレータの製造
- ②ホームセンターの売場見学
- ③輸入商品の保税倉庫見学
- ④工事現場の見学
- ⑤商品の発送作業
- ⑥営業倉庫の見学

机上での商品説明は避け、各プログラムのなかで商品を手に取り、使用されている状況を目で見て説明するように努めました。そのため、商品知識の全くない学生さんでも良く理解していただき大変好評でした。工場では、機械の操作と出来上がった商品を「紐で結ぶ」作業は新鮮で楽しくホームセンターでは、当社の商品が売場に並べられ、非常に身近に感じられたこと。保税倉庫見学は、輸入商品の物流の仕組みと国内と国外の微妙な感覚。河川工事現場では、「コンテナバック」が使用されている現実に納得。こうして2日間のインターンシップはあっという間に終わりましたが、学生さんと共に我々企業側も勉強させてもらったことに感謝しております。



インターンシップを終えて



顧問 下谷健壮

## 編集後記 総務部



3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。写真は弊社のお取引先様と協力して、被災地へ救援物資を届けるために物資を集めて積み込み作業を行っている風景です。株ギデオンの山田社長様に心より御礼申し上げます。また、被災地の皆様の元気付けになればと思い、弊社社員の応援寄書を作成しお渡しすることにしました。被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、サンコー物産(株)としても微力ではありますが全社一丸となって復興支援活動に全力を挙げて取り組んでまいります。

関西第一営業所 所長 亀野 弘一

関西第二営業所 所長 平岩 健三

今年の1月からジョインメント育成 傾聴マナー・ジェネレーション学科 学ばせて頂いております。スケジュールは月に半日、2回ペースです。12月までの計24回、大阪中央公会堂にて午前中の時間を頂きの予定です。コンセプトは①自立型思考の確立②傾聴姿勢の確立③相互支援型組織の理解です。私達が目指しているものは、組織内でのジョインメントという存在になることです。ジョインメントとは、傾聴によって相手の持つ可能性を最大限に発揮させる支援が出来る人のこと。組織の中で、直面で傾聴メンタリングを必要とするタイミングで傾聴メンタリングを行い、組織の静脈や動脈の詰まりをなくし、すべての社員が自立的に行動し、業績向上に貢献出来るようにする非常に重要なポイントです。人とのコミュニケーションを取る中でその人の真意は何か、真の問題は何か、を素早く察知して援助や支援をする必要があり、仕事はスムーズに進むようにする必要があります。仕事は円滑に進める中で、人間関係がかなり重要になってきます。しかしこの人間関係で悩んでいる人は非常に多く感じます。そのような問題を解消へと導くことができる人材になるためにこの傾聴マナー・ジェネレーション学科を学んでいます。12月の最終日に自分の考え方がどのように変わってくるのかとても楽しみです。皆さんも人の話を最後まで聴くと言っ所から始めてみては如何でしょうか。何か気づくかも知れません。



## 私の提言

苦しみは人間の偉大な教師である。苦しみの息吹のもとで魂は成長する。苦しいところを乗り越えれば、必ず成長できる。現実から目をそらさず、そこから学び、考え、行動すれば、状況は変えられる。苦しいときだからこそ、状況を変えるきっかけはたくさんある。

所長 山田博士  
関西第3営業所